

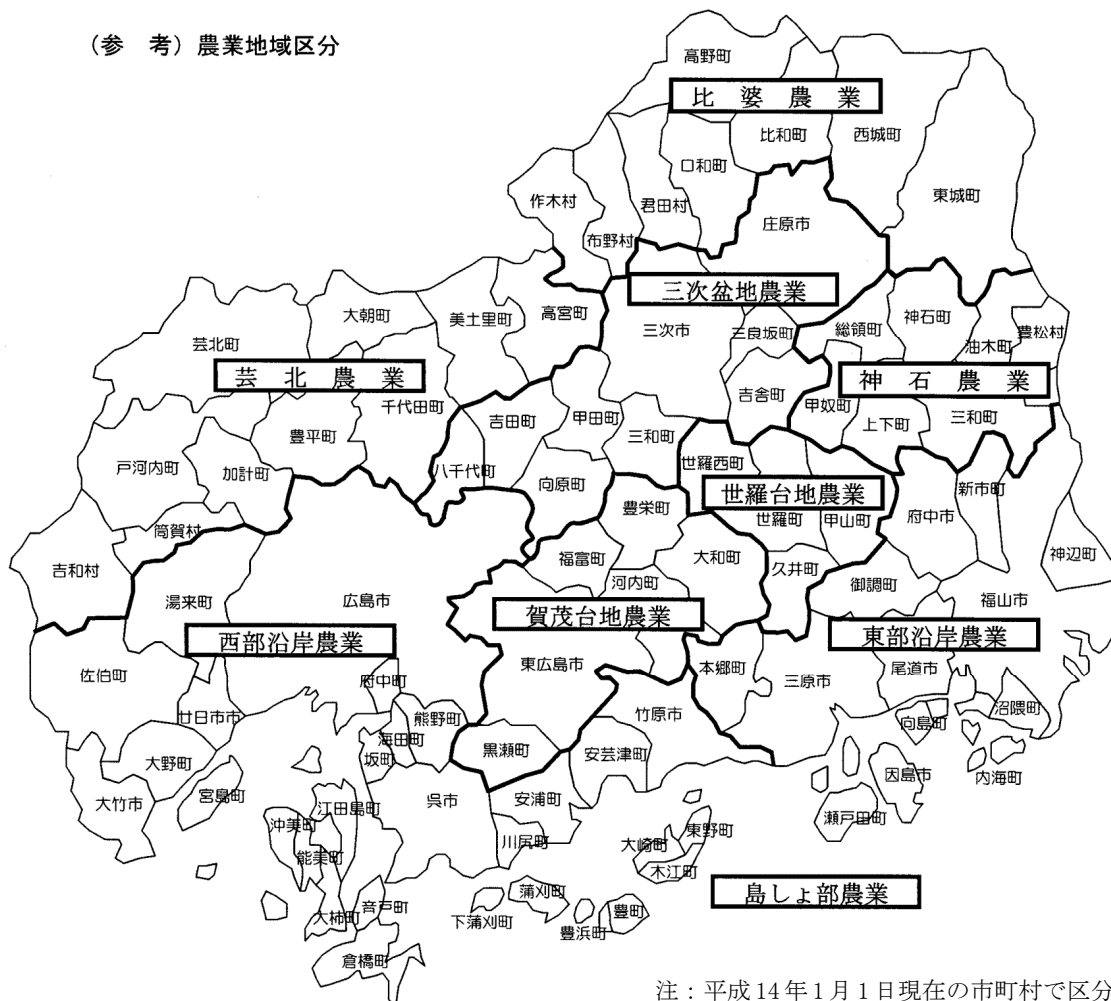
# 参考資料 8 広島県農業地域区別土壤型の特性

## 1 土壤型別面積（昭和 59 年）

(ha)

土壤型		地 域								計
		芸北	比婆	三次盆地	神石	世羅台地	賀茂台地	西部沿岸	東部沿岸	
①	黒ボク乾田	1,200	2,461	325	230					4,216
②	黒ボク湿田	832	879	4	625					2,340
③	棚田粘質乾田	192	239	967	407	678	2,188	1,094	852	6,617
④	棚田粗粒質・礫質乾田	432	290	44	53	103	979	2,480	459	4,840
⑤	棚田粘質・粗粒質湿田	97	67	39	633	392	41	18	63	1,350
⑥	平坦・谷間粘質乾田	1,072	462	2,682	663	1,563	2,111	527	1,830	10,915
⑦	平坦・谷間粗粒質乾田	1,083	483	2,025	133	176	2,755	2,399	2,200	11,254
⑧	平坦・谷間礫質乾田	786	421	1,577	330	416	355	1,366	648	5,899
⑨	平坦・谷間粘質強湿田	262	43	1,227	195	447	408	33	647	3,262
⑩	平坦・谷間粗粒質・礫質強湿田	146	30	167	21	161	514	360	452	1,851
⑪	平坦・谷間粘質半湿田	333	37	588	114	401	393	59	83	2,008
⑫	平坦・谷間粗粒質半湿田	96		143		264	201	149	395	1,248
計		6,531	5,412	9,793	3,404	4,601	9,945	8,485	7,629	55,800

(参 考) 農業地域区分



注：平成 14 年 1 月 1 日現在の市町村で区分している。

## 2 土壌型特性

土 壌 型		特 性
①	黒ボク乾田	表層または全層が黒ボク土からなるもののうち乾田である。高冷地、北部に多い。
②	黒ボク湿田	表層または全層が黒ボク土からなるもののうち湿田である。高冷地、北部に多い。
③	棚田粘質乾田	山麓斜面、台地、丘陵地に分布し、作土下にその地特有の土色の土壌をもつ（主に黄色土ときに灰褐土）。
④	棚田粗粒質・礫質乾田	同上のうち、土性が粗粒質でときに下層に礫質をもつ場合がある。
⑤	棚田粘質湿田	山麓斜面、台地、丘陵地の準水域に分布するために地下水位が高く湿田となっている。
⑥	平坦・谷間粘質乾田	河川流域の平坦地や谷間などの沖積地に分布するもののうち、土性が強粘質～粘質の乾田である。
⑦	平坦・谷間粗粒質乾田	⑥に類似するもののうち、土性が壤質～砂質で透水性の大きい乾田である。
⑧	平坦・谷間礫質乾田	⑥に類似するもののうち、下層が礫質からなる透水性の大きい乾田である。
⑨	平坦・谷間粘質強湿田	河川流域の平坦地や谷間などの沖積地に分布するもののうち、土性が強粘質～粘質で透水性の小さい強湿田である。
⑩	平坦・谷間粗粒質強湿田	⑨に類似するもののうち、土性が壤質～砂質（ときに礫層をもつ）の強湿田である。
⑪	平坦・谷間粘質半湿田	⑨に類似するもののうち、土性が強粘質～粘質で透水性の小さい半湿田である。
⑫	平坦・谷間粗粒質半湿田	⑨に類似するもののうち、土性が壤質～砂質の半湿田である。

※各地域の土壌図は農研機構 日本土壌インベントリー (<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>) を参照。